

## オリオン IoT システム QSQ 通信ソフト

(No.5509)

### —もくじ—

使用上の注意	
使用上の注意 .....	2
通信前の準備	
ソフトウェアをインストールする .....	3
本機とパソコンを通信ケーブルで接続する .....	3
操作方法	
ソフトウェアを起動する .....	4
通信ポート・通信速度（ボーレート）の設定 .....	4
通信デバイスアドレスの設定 .....	5
表示画面の選択 .....	5
詳細画面の操作 .....	6
一覧画面の操作 .....	11
保存データの確認 .....	14
QSQ 通信ソフトバージョンの確認 .....	15
資料	
仕様一覧表 .....	16



### 注意

- この製品は「産業用」です。  
取り扱いには十分注意してください。
- この取扱説明書をよく読んで正しくお使いください。
- 取扱説明書は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

## 使用上の注意

### 使用上の注意

- 本ソフトウェアは法律により保護されています。本ソフトウェア及び取扱説明書の全部または一部を無断で複製または転載することは、禁止されています。
- 本ソフトウェアを使用して得られた結果については、いかなる内容であっても責任を負いかねます。
- 本ソフトウェアは、不備がないように注意して作成しましたが、万一不備がありました場合はご容赦いただきますと同時に、ご連絡いただきますようお願い申し上げます。
- このソフトウェアの内容及び仕様等は予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。

取扱説明書内表記	対応機種
機種 1	QSQ010D、QSQ020D、QSQ035D
機種 2	QSQ080D-E、QSQ120D-E、QSQ180D-E、QSQ270D-E
機種 3	QSQ420D-E、QSQ700D-E、QSQ1000-E、QSQ1400D-E、QSQ2000D-E、QSQ2500D-E
機種 4	QSQ420D-EDC、QSQ700D-EDC、QSQ1000D-EDC、QSQ1400D-EDC、QSQ2000D-EDC、QSQ2500D-EDC

※上記機種をベースとした特注機にも対応しています。

- 本通信ソフトウェアは、ヒートレスエアドライヤーQSQ-Dシリーズ専用です（以下、QSQと表記）。他の製品やシリーズには使用できません。
- オプションの通信子基板組立が必要です。詳細は、本機の取扱説明書をご覧ください。

## 通信前の準備

### ソフトウェアをインストールする

- ダウンロードしたファイルを実行し解凍してください。解凍後「setup.exe」をダブルクリックし、セットアップ・プログラムに従い、インストールしてください。

### 本機とパソコンを通信ケーブルで接続する

本機の「RS232C」コネクタと、パソコンのシリアルポートを、通信ケーブルで接続します。本機の接続コネクタは、D-SUB 9ピンオスです。(パソコンとの接続はRS422A/RS485でも可能です)

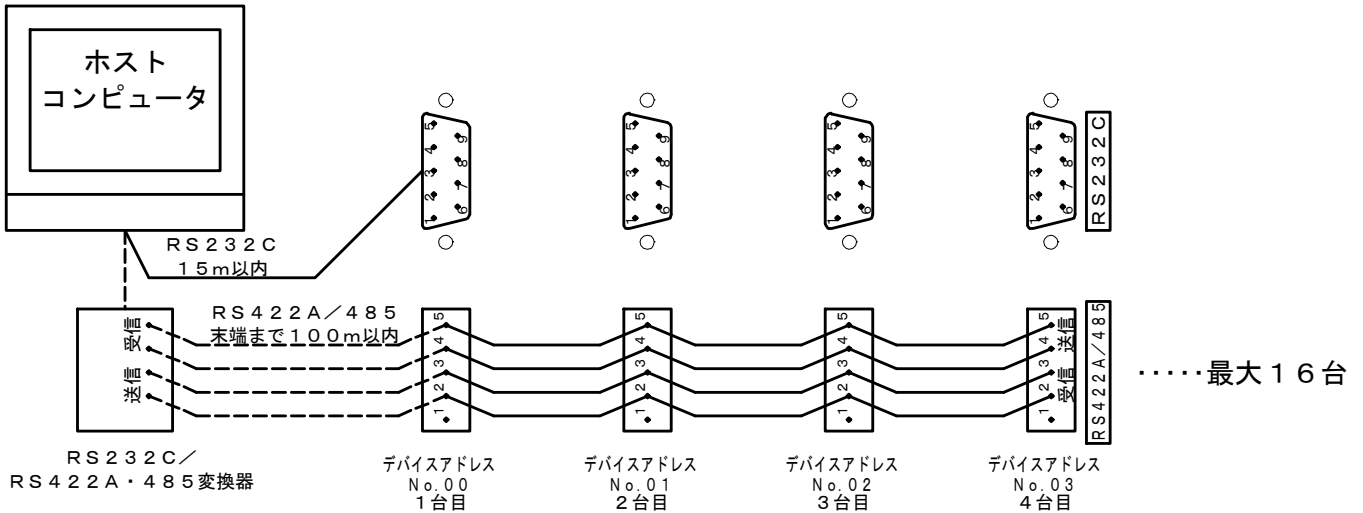
※RS-232C と RS422A/485 の併用はできません。

※通信ケーブルは、RS232C (ストレート) をご使用ください。

※USB 接続のパソコンの場合は、市販の USB 変換器をご使用ください。

※複数台接続する場合は、本機の「RS422A/RS485」端子台を用いて下図のように接続します。

※RS422A/485 に接続する場合、市販の RS232C/RS422A・485 変換器を接続してください。



# 操作方法

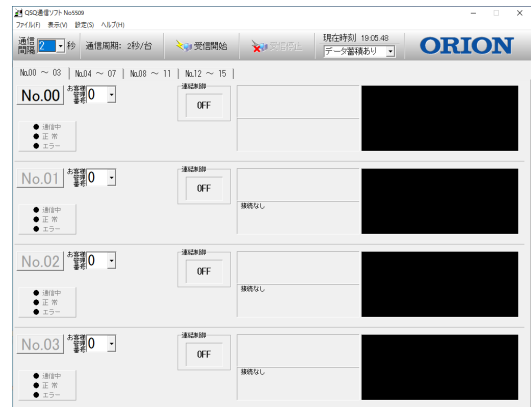
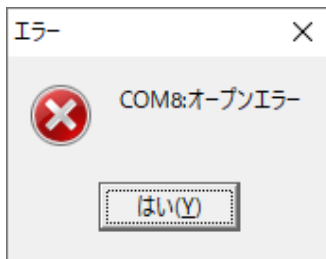
※通信にあたり、本機の設定が必要です。本機の取扱説明書内の「パラメータ機能」の項で確認いただき、必要な各設定をしてください。

## ソフトウェアを起動する

「QSQ 通信ソフト No5509」アイコンをダブルクリックすると「QSQ 通信ソフト」が起動します。



※以下のダイアログが表示される場合は、「はい」をクリックしてください。



起動直後の画面

## 通信ポート・通信速度（ボーレート）の設定

### 1. 通信ポートの設定

ソフトウェア起動時に、「COM\*オープンエラー」のダイアログが表示された場合

- (1) パソコンの「コントロールパネル」→「システム」→「デバイスマネージャー」→「ポート (COM と LPT)」で今回の通信で接続したポートの番号 (COM\*) を確認します。
- (2) 確認したポート番号を、「QSQ 通信ソフト」メニューバーの「設定」→「通信ポート」→「通信ポート」の「▼」をクリックし、選択して、「OK」をクリックします。



### 2. 通信速度（ボーレート）の設定

- (1) メニューバーの「設定」→「通信ポート」→「通信速度 (BPS)」の「▼」をクリックし、「9600」「38400」のどちらかを選択して、「OK」をクリックします。
- (2) 本機の通信速度を「38400」に変更した場合は、QSQ 通信ソフトも「38400」を選択します。  
※複数台の QSQ を接続する場合は、通信速度を統一してください。通信速度が異なる QSQ は接続できません。

# 操作方法

## 通信デバイスアドレスの設定

### 1. QSQ の設定

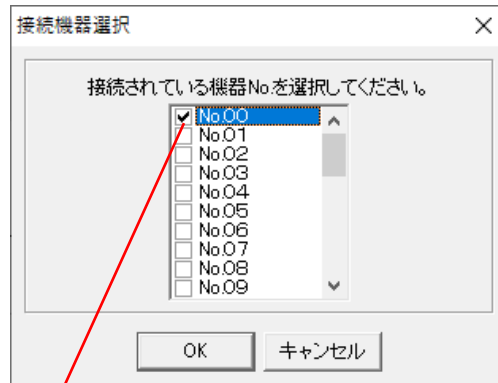
1台のパソコンに複数台のQSQを接続した場合は、それぞれのQSQにて、デバイスアドレス番号(0~15)を設定します。

※設定方法は、本機の取扱説明書をご覧ください。

※全て違うデバイスアドレス番号を設定してください。同じ番号が存在すると、通信が正常に行えません。

### 2. 「QSQ 通信ソフト」の設定

「QSQ 通信ソフト」の起動直後画面にて、メニューバーの「設定」→「接続機器選択」にて、1で設定したデバイスアドレス番号のチェックボックスをクリックして「✓」を表示させ、「OK」をクリックします。



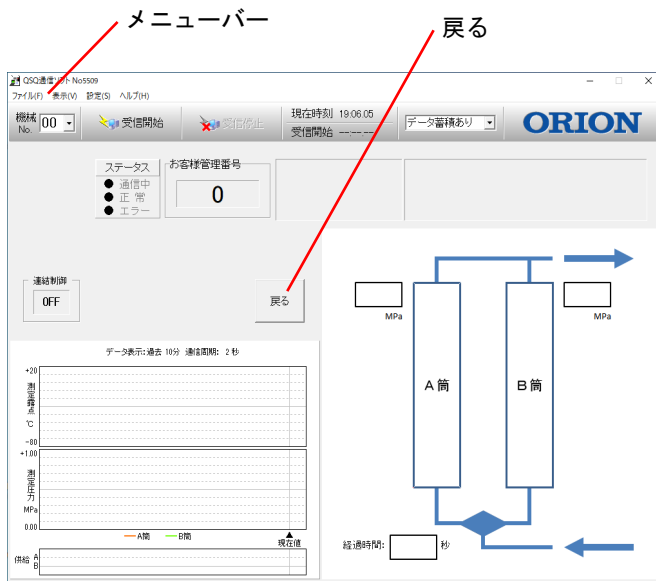
チェックボックスをクリックすると、「✓」の表示が現れたり消えたりします。「✓」の表示にしたデバイスアドレスと通信します。

## 表示画面の選択

### 1. 表示画面の選択

表示画面は、複数のQSQを接続している場合でも、指定したデバイスアドレスの運転データのみ表示する「詳細画面」と、複数のデバイスアドレスの運転データを表示する「一覧画面」があります。

表示画面の切替は、メニューバーの「表示」→「画面切替」→「詳細」「一覧」で選択するか、一覧画面の「デバイスアドレス No.」または詳細画面の「戻る」をクリックします。



詳細画面



一覧画面

# 操作方法

## 詳細画面の操作

### 1. 画面

#### <機種 1>

受信開始・停止ボタン

運転状態表示部

データ蓄積表示部

警報内容表示部

デバイスアドレス表示部

お客様管理番号表示部

運転ボタン

停止ボタン

通信状態表示部

接続制御設定表示部 ※1

戻るボタン (一覧画面切替ボタン)

測定圧力 ※2 (A筒)

測定圧力 ※2 (B筒)

吸着筒状態表示部 (吸着側：青色 再生側：白色) ※吸着筒の圧力を監視しているわけではありません。

エア供給推移グラフ

グラフ横軸表示時間

通信間隔

吸気経過時間

#### <機種 2、機種 3、機種 4>

受信開始・停止ボタン

運転状態表示部

データ蓄積表示部

警報内容表示部

デバイスアドレス表示部

お客様管理番号表示部

運転ボタン

停止ボタン

通信状態表示部

省エネ設定・省エネ露点・省エネ率表示部

接続制御設定表示部 ※1

戻るボタン (一覧画面切替ボタン)

測定圧力 (A筒)

測定圧力 (B筒)

吸着筒状態表示部 (吸着側：青色 再生側：白色) ※吸着筒の圧力を監視しているわけではありません。

測定露点表示部

警報露点表示部

測定露点・測定圧力・エア供給推移グラフ

グラフ横軸表示時間

通信間隔

吸気経過時間

※1. 詳細は、本機の取扱説明書「連結制御」をご覧ください。

※2. 圧力センサが無い場合、常に 0.00MPa となります。(各吸着筒の圧を確認したい場合は、本機の取扱説明書をご覧になり、圧力センサ組立をご注文ください。)

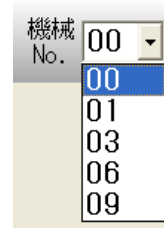
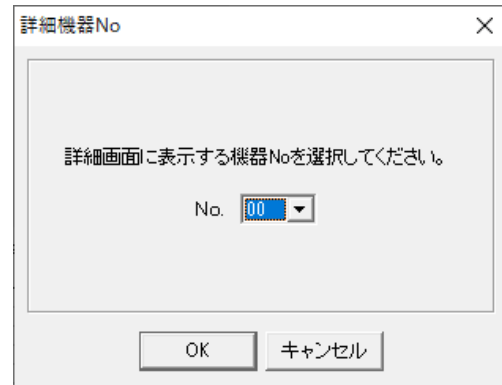
# 操作方法

## 2. 画面に表示するデバイスアドレスの設定 (通信中は操作不可)

画面に表示するデバイスアドレスの設定は、メニューバーの「表示」→「詳細機器 No」で No. 表示部右側の「▼」をクリックするか、詳細画面上のデバイスアドレス表示部(機械 No.) 右側の「▼」をクリックすると、表示可能なデバイスアドレス番号が表示されるので、表示したい番号をクリックします。

※表示したいデバイスアドレス番号が表示されない場合は、P5「通信デバイスアドレスの設定」をやり直してください。

※この設定は、受信停止中のみ可能です。



## 3. 受信(通信)の開始

受信(通信)の開始は、メニューバーの「ファイル」→「データ受信」→「受信開始」か、詳細画面上の「受信開始」ボタンをクリックすると、「1. 画面」のように、「運転」「停止」ボタンや、「運転状態表示部」「設定値」「測定値」などが表示され、「推移グラフ」に測定値の変化がグラフ表示されます。

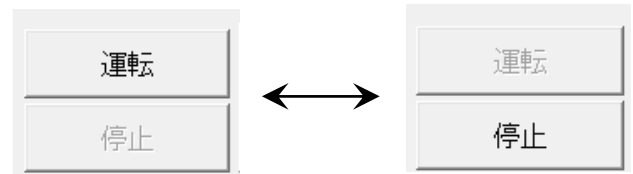
## 4. 受信(通信)の停止

受信(通信)の停止は、メニューバーの「ファイル」→「データ受信」→「受信停止」か、詳細画面上の「受信停止」ボタンをクリックすると、受信(通信)が停止します。

## 5. 運転操作

受信を開始すると、本機が停止中であれば「運転」ボタンが表示されるので、クリックすると運転を開始します。また、「運転」ボタンをクリックすると「停止」ボタンが表示されます。

※運転操作の前に、必ず本機の取扱説明書をお読みください。



## 6. 本機の停止操作

運転状態表示部に「運転中」の表示があり、本機が運転している場合は、「停止」ボタンをクリックすると運転を停止します。

## 7. 本機の運転・停止操作の有効・無効選択

(通信中は操作不可)

メニューバーの「設定」→「運転操作」→「有効」「無効」で無効を選択すると、前頁 5、6 の運転ボタンが画面に表示されなくなり、運転・停止操作がパソコンからできなくなります。

# 操作方法

## 8. 設定値の変更操作

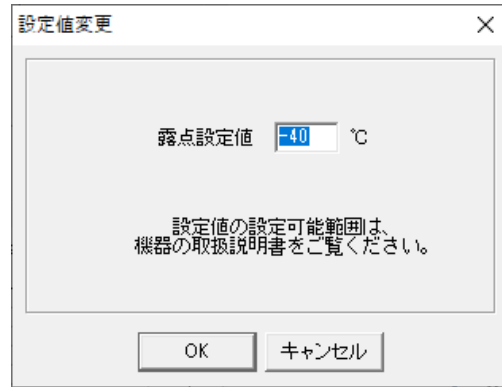
省エネ露点・警報露点表示部の「変更」ボタンで表示されるダイアログで変更したい露点（設定値）を入力し、「OK」をクリックします。

※本機のパラメータ「F15」の設定が“0”（省エネ運転無し）になっている場合は、省エネ露点表示部の「変更」ボタンが押せません。（省エネ露点設定値が0と表示されます）

※本機のパラメータ「F20」の設定が“0”（露点異常警報無し）になっている場合は、警報露点表示部の「変更」ボタンが押せません。（警報露点設定値が0と表示されます）

※入力した値が設定可能範囲外の場合、入力エラーが表示されます。

※このソフトウェアで設定値を変更した後に本機の電源をしゃ断すると、本機の設定値はソフトウェアで設定する前の設定値に戻ります。



## 9. 推移グラフの設定変更（通信中は操作不可）

### (1) 縦軸変更方法

※通信停止中のみ可

メニューバーの「表示」→「グラフ」で表示されるダイアログにおいて、下記レンジを入力してください。

縦軸	レンジ	初期値
露点測定値	-80～20°C	-80～20°C
圧力測定値	-0.50～1.50MPa	0.00～1.00MPa

### (2) 横軸変更方法

※通信停止中のみ可

選択した通信間隔と、P5の「通信デバイスアドレスの設定」で選択した台数により自動的に設定されます。



## 10. 受信データの保存

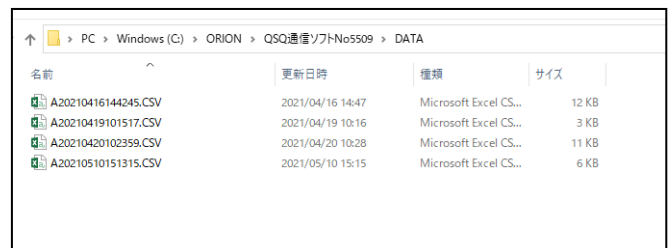
メニューバーの「設定」→「データ蓄積」→「あり」「なし」か、詳細画面上のデータ蓄積表示部右側の「▼」をクリックして「データ蓄積あり」「データ蓄積なし」で受信データを保存するか否かの選択ができます。

※通信停止中のみ可

「あり」を選択している場合は、「受信開始」ボタンをクリックして受信を開始すると、指定されたデータ保存フォルダに受信開始「年月日時分秒（例：2014（年）04（月）01（日）12（時）34（分）56（秒）」をファイル名とした保存データファイルを作成し、保存を開始します。

データの保存先は、メニューバーの「設定」→「データ保存先」で指定できます。クリア（空、指定しない）の場合は、実行フォルダ¥DATA が選択されます。保存データファイルは最大5MBで、これを超えた場合は新たなファイルを作成し、保存を続けます。

※ハードディスクの容量が500MB未満の場合、データを蓄積することができません。

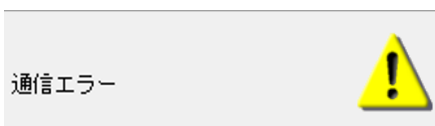




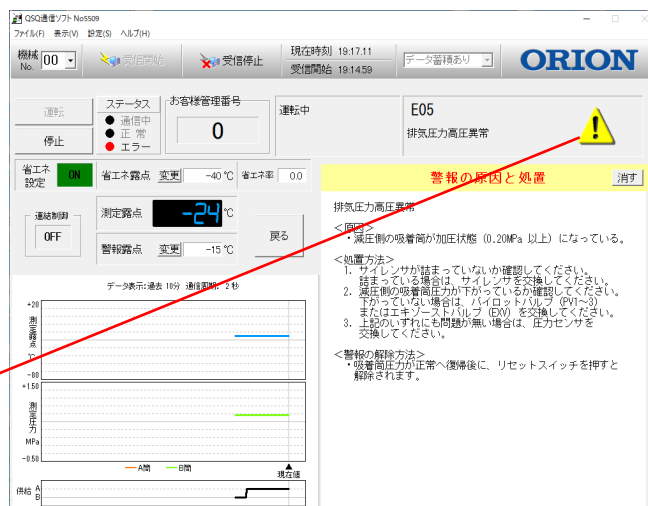
# 操作方法

## 11. 警報内容表示部

本機で警報が発生すると、警報コード番号と警報名称が表示され、さらに吸着筒状態表示部には、警報コード番号と警報名称および原因と処置方法の概要が表示されます。詳細は本機の取扱説明書をご覧ください。また、「通信エラー」と表示している場合は通信異常が発生しています。

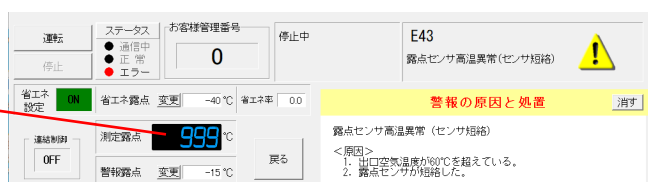


通信エラー



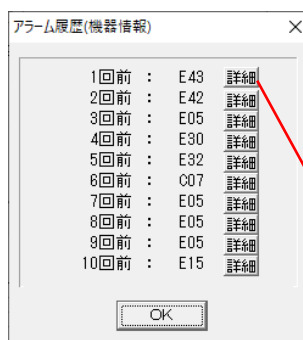
### ※測定露点が「999」と表示された場合

センサ異常で、露点の測定ができない状態です。警報コード詳細、または本機の取扱説明書をご覧ください。処置をしてください。



## 12. 警報履歴の表示

メニューバーの「ファイル」→「警報履歴」で、10回分の警報を確認できます。警報コード番号の横にある「詳細」をクリックすると、警報コード番号と警報名称および原因と処理方法の概要が表示されます。



## 13. その他の機能

### (1) 表示画面の印刷

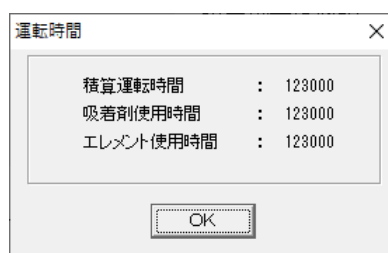
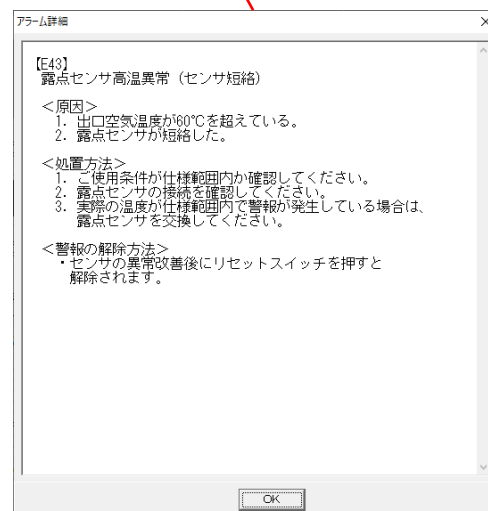
メニューバーの「ファイル」→「画面印刷」で、表示画面をそのままプリンタに出力して印刷することができます。

### (2) 表示画面の複写

メニューバーの「ファイル」→「画面複写」で、表示画面をそのままパソコンのクリップボードにコピーされますので、他のアプリケーション (Microsoft Word などの文書) に画面を貼り付けることができます。

### (3) 積算運転時間、吸着剤使用時間、エレメント使用時間の確認

メニューバーの「ファイル」→「運転時間」で、画面に表示しているデバイスアドレスの積算運転時間、吸着剤使用時間、エレメント使用時間を確認することができます。



# 操作方法

## (4) 制御機器ソフト No の確認

メニューバーの「表示」→「制御基板ソフト No」で、画面に表示しているデバイスアドレスの本機に搭載されている、制御基板のソフトウェア番号を確認することができます。



## (5) 本機のパラメータ設定の確認と変更

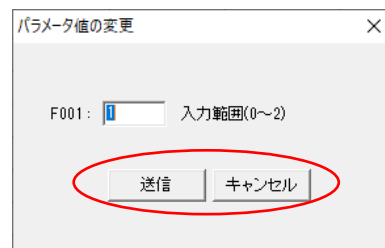
メニューバーの「ファイル」→「パラメータ」で、画面表示しているデバイスアドレスの本機にて設定されている、パラメータの現在値が表示されます。

### <パラメータ変更方法>

- ① 変更したいパラメータ項目を選択します。(選択項目は青色表示)
- ② 「値変更」ボタンをクリックすると、変更ダイアログが表示されます。  
※1項目ずつ変更します。
- ③ 変更する場合は、値を入力して「送信」ボタンをクリックします。  
変更しない場合は「キャンセル」ボタンをクリックしてください。
- ④ 送信後は「公開パラメータ再受信」ボタンをクリックし、現在値が変更されたことを確認してください。

### ※注意

設定変更する場合は、本機の取扱説明書にて各パラメータの機能を確認してから行ってください。むやみに変更すると誤動作の原因となります。



変更ダイアログ

## (6) ディップスイッチ状態の確認

メニューバーの「ファイル」→「ディップスイッチ状態」で、画面に表示しているデバイスアドレスの本機に搭載されている、制御基板のディップスイッチ設定を確認できます。

## (7) 通信ソフトの終了方法

本機と通信している場合は、「受信停止」ボタンをクリックした後、メニューバーの「ファイル」→「終了」をクリックするか、右上の「×」をクリックします。

# 操作方法

## 一覧画面の操作

### 1. 画面

**<機種 1>**

お客様管理番号表示部  
通信間隔表示部  
通信周期  
受信開始・停止ボタン  
運転状態表示部  
データ蓄積表示部  
警報内容表示部  
表示デバイスアドレス切替タブ  
デバイスアドレス No. (詳細画面切替ボタン)  
No.00  
お客様管理番号 99  
ON/OFF  
通信中  
正常  
エラー  
再生 [A筒]  
吸着 [B筒]

**<機種 2、機種 3、機種 4>**

お客様管理番号表示部  
通信間隔表示部  
通信周期  
受信開始・停止ボタン  
運転状態表示部  
データ蓄積表示部  
警報内容表示部  
表示デバイスアドレス切替タブ  
デバイスアドレス No. (詳細画面切替ボタン)  
No.00  
お客様管理番号 99  
ON/OFF  
通信中  
正常  
エラー  
再生 [A筒]  
吸着 [B筒]  
省エネ設定  
測定露点  
ON  
OFF  
測定露点  
ON  
OFF  
測定露点  
通信中  
正常  
エラー  
吸着 [A筒]  
再生 [B筒]

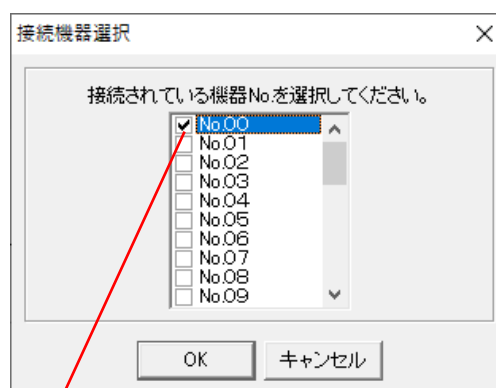
吸着筒状態表示部  
(吸着側：青色  
再生側：白色)  
※吸着筒の圧力を監視しているわけ  
ではありません。

吸着筒状態表示部  
(吸着側：青色  
再生側：白色)  
※吸着筒の圧力を監視しているわけ  
ではありません。

※1. 詳細は、本機の取扱説明書「連結制御」をご覧ください。

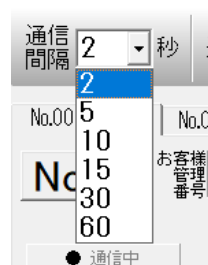
## 操作方法

2. 通信するデバイスアドレスの設定（通信中は操作不可）  
すでに設定されている(P5「通信デバイスアドレスの設定」参照) デバイスアドレス以外は「接続なし」を表示し、通信しません。  
設定を変更する場合は、メニューバーの「設定」→「接続機器選択」にて行ってください。  
※本機が接続されていないデバイスアドレスを選択すると、通信間隔が設定より長くなりますのでご注意ください。



チェックボックスをクリックすると、「✓」の表示が現れたり消えたりします。「✓」の表示にしたデバイスアドレスと通信します。

3. 通信間隔の設定（通信中は操作不可）  
通信間隔とは、ひとつのデバイスアドレスあたりの通信時間です。受信（通信）停止中のみ設定変更できます。  
通信間隔表示部右側の「▼」をクリックすると、設定できる時間（秒）が表示されるので、設定する時間をクリックします。  
※この設定は、受信（通信）停止中のみ可能です。  
※通信周期について  
通信周期とは、1台毎のデータが更新される時間のことで、接続機器選択にて選択する台数によってこの値（時間）が自動で変わります。  
<例>  
①通信間隔：2秒  
②機器選択台数：10台  
||  
通信周期：20秒（2秒×10台）  
※受信データの保存間隔も、通信周期と同じになります。



4. 画面に表示するデバイスアドレスの変更  
表示デバイスアドレス切替タブの中で、表示したいデバイスアドレスが含まれるタブをクリックすると、切り替わります。
5. 受信（通信）の開始  
「受信開始」ボタンをクリックすると、デバイスアドレスの若い方から、順次データの受信を開始します。データ受信中のデバイスアドレスは、通信状態表示部の「通信中」が点灯します。
6. 本機の運転・停止操作と操作の有効・無効選択  
各デバイスアドレス表示部の「運転」および「停止」ボタンをクリックすることで操作できます。（P7参照）  
※この操作の指令が本機に伝わるまでの時間は、全てのデバイスアドレスにて通信異常が無い場合で、最大「通信周期」かかりますのでご注意ください。  
※運転操作の前に必ず、本機の取扱説明書をお読みください。



# 操作方法

## 8. 受信データの保存

受信データの保存は、メニューバーの「設定」→「データ蓄積」→「あり」「なし」か、一覧画面上のデータ蓄積表示部右側の「▼」をクリックして「データ蓄積あり」「データ蓄積なし」で受信データを保存するか否かの選択ができます。

「あり」を選択している場合は、「受信開始」ボタンをクリックして受信を開始すると、指定されたデータ保存フォルダに受信開始「年月日時分秒（例：2014（年）04（月）01（日）12（時）34（分）56（秒）」をファイル名とした保存データファイルを作成し、保存を開始します。

データの保存先は、メニューバーの「設定」→「データ保存先」で指定できます。クリア（空、指定しない）の場合は、実行フォルダ\*DATA が選択されます。

保存データファイルは最大 5MB で、これを超えた場合は新たなファイルを作成し、保存を続けます。

※ハードディスクの容量が 500MB 未満の場合、データを保存することができません。

名前	更新日時	種類	サイズ
A20210416144245.CSV	2021/04/16 14:47	Microsoft Excel CS...	12 KB
A20210419101517.CSV	2021/04/19 10:16	Microsoft Excel CS...	3 KB
A20210420102359.CSV	2021/04/20 10:28	Microsoft Excel CS...	11 KB
A20210510151315.CSV	2021/05/10 15:15	Microsoft Excel CS...	6 KB

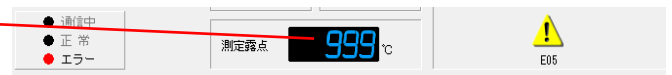
## 9. 警報内容表示部

本機で警報が発生すると、警報コード番号が表示されます。本機の取扱説明書をご覧になって対処してください。また、「通信エラー」と表示している場合は通信異常が発生しています。



※測定露点が「999」と表示された場合

センサ異常で、露点の測定ができない状態です。警報コード詳細、または本機の取扱説明書をご覧になって処置をしてください。



## 10. その他の機能

### (1) お客様管理番号の設定（通信中は操作不可）

デバイスアドレスとは別に、お客様での管理を目的としてご自由に番号を設定できます。

番号設定範囲：0～99

お客様管理番号表示部右側の「▼」をクリックすると、番号が表示されるので、ご希望の番号をクリックします。

### (2) 表示画面の印刷

メニューバーの「ファイル」→「画面印刷」で、表示画面をそのままプリンタに出力して印刷することができます。

### (3) 表示画面の複写

メニューバーの「ファイル」→「画面複写」で、表示画面をそのままパソコンのクリップボードにコピーされますので、他のアプリケーション（Microsoft Word などの文書）に画面を貼り付けることができます。

### (4) 通信ソフトの終了方法

本機と通信している場合は、「受信停止」ボタンをクリックした後、メニューバーの「ファイル」→「終了」をクリックするか、右上の「×」をクリックします。

# 操作方法

## 保存データの確認

### 1. 保存されているフォルダ

保存フォルダの初期設定は、「QSQ 通信ソフト」をインストールしたフォルダ内の「DATA」フォルダに保存されています。データは EXCEL カンマ区切り文字ファイル (.CSV) です。

### 2. データファイルの内容 (例)

デバイスアドレス No. 00 のデータ

データ受信日	データ受信時間	お客様管理番号	機種+運転状態	測定露点	省エネ露点	警報露点	注意露点	露点警報設定	測定圧力 A 筒	測定圧力 B 筒	エレメ
2021/5/24	19:35:04	0	0	30	-36.3	-40	-15	-25	1	0.321	0.4
2021/5/24	19:35:06	0	0	30	-36.3	-40	-15	-25	1	0.321	0.4
2021/5/24	19:35:08	0	0	30	-36.3	-40	-15	-25	1	0.321	0.4
2021/5/24	19:35:10	0	0	30	-36.3	-40	-15	-25	1	0.321	0.4
2021/5/24	19:35:12	0	0	30	-36.3	-40	-15	-25	1	0.321	0.4

デバイスアドレス No. 00 のデータ

デバイスアドレス No. 01 のデータ...

エレメント使用時間	吸着剤使用時間	積算運転時間	警報表示	エア-供給筒	供給時間	省エネ設定	省エネ率	連結制御設定
0.4	0	0	123000	B	0	1	0	0
0.4	0	0	123000	B	0	1	0	0
0.4	0	0	123000	B	0	1	0	0
0.4	0	0	123000	B	0	1	0	0

#### (1) デバイスアドレス

保存した時の画面（「詳細画面」「一覧画面」）に関わらず、「通信デバイスアドレスの設定」で選択したデバイスアドレスのデータが保存されています。

通信設定していなかったデバイスアドレスのデータは、保存・表示されません。

#### (2) データ表示部

以下の項目が、デバイスアドレス毎に保存されています。

お客様管理番号、機種+運転状態、測定露点(°C)、省エネ露点(°C)、警報露点(°C)、注意露点(°C)、露点警報設定、測定圧力 A 筒(MPa)、測定圧力 B 筒(MPa)、エレメント使用時間、吸着剤使用時間、積算運転時間、警報表示、エア-供給筒、供給時間、省エネ設定、省エネ率、連結制御設定

①本機の設定により、データファイルでは下記の通り表示されます。

F15=0 (省エネ運転無し) の場合	省エネ露点 (°C)	0
	省エネ設定	0
F21=0 (露点異常注意無し) の場合	注意露点 (°C)	0
F20=0 (露点異常警報無し) の場合	警報露点 (°C)	0
	注意露点 (°C)	0
	露点警報設定	0
温湿度/露点センサ異常時	測定露点 (°C)	999

②機種 1 の場合、機能に制限があるためデータファイルでは下記の通り表示されます。

測定露点 (°C)	888
省エネ露点 (°C)	0
警報露点 (°C)	0
注意露点 (°C)	0
露点警報設定	1
測定圧力 A 筒 ※	0
測定圧力 B 筒 ※	0
警報表示	0
省エネ設定	1
省エネ率	0
連結制御設定	0

※オプションの圧力センサ組立を追加すると、測定圧力が表示されます。

# 操作方法

## (3) 機種+運転状態の詳細

\*\*

運転状態	
0	停止中
1	運転中
8	安全停止中
9	省エネ運転中

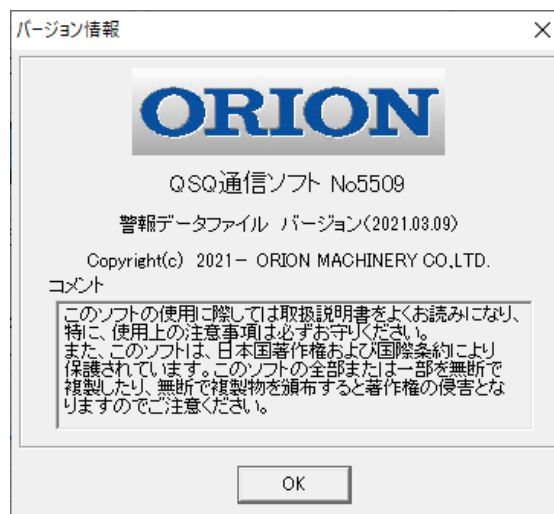
機種番号

	取扱説明書内表記	機種
なし	機種 1	QSQ010D、QSQ020D、QSQ035D
1	機種 2	QSQ080D-E、QSQ120D-E、QSQ180D-E、QSQ270D-E
2	機種 3	QSQ420D-E、QSQ700D-E、QSQ1000D-E、QSQ1400D-E、QSQ2000D-E、QSQ2500D-E
3	機種 4	QSQ420D-EDC、QSQ700D-EDC、QSQ1000D-EDC、QSQ1400D-EDC、 QSQ2000D-EDC、QSQ2500D-EDC

※通信エラーが発生していたデバイスアドレスは「機種+運転状態」に「×」が表示されます。

## QSQ 通信ソフトバージョンの確認

メニューバーの「ヘルプ」→「バージョン情報」で右の画面が表示され、ソフトのバージョンが確認できます。



# 資料

## 仕様一覧表

対象機種 ※1	機種 1	QSQ010D、QSQ020D、QSQ035D ※2
	機種 2	QSQ080D-E、QSQ120D-E、QSQ180D-E、QSQ270D-E
	機種 3	QSQ420D-E、QSQ700D-E、QSQ1000D-E、QSQ1400D-E、QSQ2000D-E、QSQ2500D-E
	機種 4	QSQ420D-EDC、QSQ700D-EDC、QSQ1000D-EDC、QSQ1400D-EDC、QSQ2000D-EDC、QSQ2500D-EDC
		※上記機種をベースとした特注機にも対応しています。
対応パソコン	OS	Windows 10 (64/32bit) 、Windows 8.1 (64/32bit) ※Windows の他のバージョンについてはお問い合わせください。
	画面	1024×768 ドット以上
操作機能	本機の運転・停止 省エネ露点・警報露点の設定・変更 パラメータの設定	
表示機能	本機の運転状態、測定露点、各吸着筒圧力、省エネ露点・警報露点設定値、警報、測定露点・圧力推移グラフ	
本機の最大接続台数	16 台 最大 16 台の本機を、パソコン 1 台で管理可能	
データ保存機能	日付、時間、機種+運転状態、測定露点、省エネ露点・警報露点・注意露点設定値、測定圧力 (A 筒)、測定圧力 (B 筒)、エレメント使用時間、吸着剤使用時間、積算運転時間、警報表示、エア供給筒、供給時間、省エネ率、露点警報設定の有無、省エネ運転設定の有無、連結制御設定の有無 (EXCEL カンマ区切り文字ファイル形式)	
最短データ通信周期	2 秒	

※1：オプションの通信子基板組立が必要です。詳細は、本機の取扱説明書をご覧ください。

※2：機種 1 では、ご使用頂ける機能に制限があります。



memo

memo

memo



# オリオン機械株式会社

<https://www.orionkikai.co.jp>

当社製品に関するお問合せ・資料請求は

お客様相談センター

✉ [sijo@orionkikai.co.jp](mailto:sijo@orionkikai.co.jp)



☎ 0120-958-076

受付時間 平日 9時～17時

FAX 026-246-6753

北海道オリオン株式会社(札幌) 011-865-3666  
 中央オリオン株式会社(仙台) 022-284-0691  
 中央オリオン株式会社(盛岡) 019-641-4554  
 中央オリオン株式会社(郡山) 022-284-0691  
 東日本オリオン株式会社(東京) 03-6811-7711  
 東日本オリオン株式会社(横浜) 045-934-7011  
 東日本オリオン株式会社(八王子) 042-631-5561  
 東日本オリオン株式会社(千葉) 043-221-7788  
 東日本オリオン株式会社(太田) 0276-46-7678  
 東日本オリオン株式会社(さいたま) 048-783-3975  
 東日本オリオン株式会社(宇都宮) 028-688-0020  
 東日本オリオン株式会社(茨城) 0299-49-1008  
 東日本オリオン株式会社(新潟) 025-260-8005  
 東日本オリオン株式会社(長野) 026-248-2428  
 東日本オリオン株式会社(上田) 0268-22-6780  
 東日本オリオン株式会社(諏訪) 0266-58-7535

中部オリオン株式会社(名古屋) 0587-21-1717  
 中部オリオン株式会社(三河) 0566-62-4377  
 中部オリオン株式会社(三重) 059-367-7324  
 中部オリオン株式会社(浜松) 053-464-4737  
 中部オリオン株式会社(沼津) 055-929-0155  
 中部オリオン株式会社(金沢) 076-263-1881  
 関西オリオン株式会社(大阪) 06-6305-1414  
 関西オリオン株式会社(京都) 075-646-3939  
 関西オリオン株式会社(神戸) 078-945-5508  
 関西オリオン株式会社(岡山) 086-246-3501  
 関西オリオン株式会社(山陰) 0859-30-4103  
 関西オリオン株式会社(広島) 082-264-4535  
 関西オリオン株式会社(高松) 087-835-1367  
 西日本オリオン株式会社(福岡) 092-477-8480  
 西日本オリオン株式会社(熊本) 0968-38-7311  
 西日本オリオン株式会社(鹿児島) 099-263-5275

本社工場 〒382-8502 長野県須坂市大字幸高246  
 更埴工場 〒387-0007 長野県千曲市大字屋代1291  
 千歳工場 〒066-0077 北海道千歳市上長都1051-16

便利メモ (おぼえのため、記入されると便利です。)

お買いあげ日		製造番号	
販売店名		店名	
		電話 ( )	—